

第2回小金井市健康づくり審議会 会議録

日 時 平成26年11月20日(木) 午後1時30分～午後2時10分

場 所 前原暫定集会施設2階B会議室

出席者

審議会委員11名

会長 齋藤 寛和委員

委員 新井 利夫委員 中里 成子委員 玉木 とみ子委員

村澤トキイ委員 関根 優司委員 小林 久滋委員

内山 雅之委員 大澤 繁喜委員 大西 義雄委員

雨宮 安雄委員

欠席委員 木下 隆一委員 古明地 節子委員 播磨 あかね委員

藤森 寿美子委員

事務局職員

福祉保健部長 柿 崎 健 一

健康課長 高 橋 啓 之

健康係長 中 島 明 美

健康係主任 千 葉 祐 生

健康係副主査 渡 邊 健 介

傍聴の可否及び傍聴者人数

傍聴可・傍聴者数0人

会議次第

別紙のとおり

審議会内容

(午後1時40分 開会)

○齋藤会長 それでは皆さん、お2人お見えではないのですが、時間のほうが大分過ぎてしまいましたので、本日の審議会を開催させていただきたいと思います。

初めに、委員の出欠と配付資料等の確認を、事務局のほうからお願いします。

○中島係長 本日の委員の方々の出欠でございますが、古明地委員、播磨委員、藤森委員の3名から欠席のご連絡をいただいております。会長を除きまして11名の委員の方の出席です。遅れております2名を除きましても9名ということで、過半数以上の出席をいただいておりますので、審議会としては成立することをご報告させていただきます。

次に、配付資料に入る前に、前回配付いたしました資料の訂正をさせていただきたいと思います。皆さん、お手元にございましたら資料5-3をお願いいたします。お持ちでない方はいらっしゃいますでしょうか。

5-3でございます胃がん検診になりますが、平成25年度のがんであった方という欄がございますが、そちらの人数が「2人」ではなく「4人」となりますので、訂正のほうをお願いいたします。平成25年度、一番右の欄になります。よろしくをお願いいたします。

続きまして、机上のほうに本日の次第書を配付させていただいております。参考といたしまして、前回の第1回健康づくり審議会におけるがん検診有料化への意見要旨を配付してございます。郵送またはメールでお送りさせていただいた中にございます。あと、本日、クリーム色の表紙で、平成25年度の事業報告となります平成26年度小金井市の保健衛生ができましたので配付をさせていただいております。本日は使いませんので、お持ち帰りいただければと思います。よろしくをお願いいたします。

以上です。

○齋藤会長 この要旨というのはメールで来たのですか。

○中島係長 はい。開催場所のご案内をさせていただいたときにお送りしております。

○齋藤会長 そうですか。ありがとうございます。

続きまして、意見と提案シートについて事務局から報告をお願いしたいと思います。

○中島係長 本日の審議会に関する意見・提案は改めてございませんでした。

以上です。

○齋藤会長 ありがとうございます。

本日の議事は、次第にありますとおりがん検診費用の有料化（案）についてということで、前回からの継続となります。

前回から約1か月たっておりますので、皆さん、いろいろ所属されているところの方々とご意見をまとめられてきたと思いますので、お一人お一人意見を述べていただければと思います。

それでは席次の順で、新井委員からお願いしたいと思いますが、発言の前にお名前をおっしゃってからお願いしたいと思います。

それではよろしく願いいたします。

○**新井委員** 新井利夫です。このがん検診費用有料化はいかがかということに関しての私の意見は、できれば今までどおり無料だと思いますが、行政のほうの担当部署が検討した熟慮の結果、こういう一部費用負担ということを決めたのだと理解しますので、やむを得ずといいますか、賛同するというふうにお答えします。

○**齋藤会長** ありがとうございます。やむを得ずというご意見つきで賛成ということで了承いたしました。

では玉木委員、お願いします。

○**玉木委員** 玉木とみ子です。市の税収入も伸びない中で、本当に小金井市はよくやったださっているなというふうに、また改めてこの会に出席させていただきまして感じております。行財政改革の方向性というのもう出されておりますので、その中で、受診者負担の導入というのはもうやむを得ないのかなと考えております。

前回、高橋課長から説明がありましたので、社会的な弱者の配慮は必要だと思っております。ぜひそこはお願いしたいなと思います。また、受診者負担による収入増がありますと、それを活用して、これからもより効率的なサービスに努めていただき、また胃がん検診や肺がん検診の受診率をぜひ向上させていただけたらいいなと思っております。

以上です。

○**齋藤会長** ありがとうございます。やむを得ず賛成されるけれども、弱者への配慮とサービス向上が必要ということですね。

○**玉木委員** はい。よろしく願いいたします。

○**齋藤会長** ありがとうございます。

では中里委員、お願いいたします。

○**中里委員** 中里です。前回にも申し述べましたとおりなのですが、受益者負担の考え方は私は原則賛成なのですが、こと医療・福祉分野に関しましては、弱者切り捨ての不安がありますので、結果として医療費の増大につながるのではないかという気持ちを持っております。

しかし、前回、行政のほうからのお話で、がん検診の受診者の裾野拡大にこの部分を使っていかれるということでしたので、そうであれば、この有料化はその拡大に結びつくのである、それでしたら有料化は了承できると思っております。今後とも、行政にはがん予防につながる施策を効果的に実施してく

ださるように希望しております。

以上です。

○齋藤会長 ありがとうございます。有料化によってがん検診を受ける方々がふえれば、有料化もやむを得ないということではよろしいですかね。

それでは村澤委員、お願いします。

○村澤委員 村澤トキイです。私は、胃がん検診と、過去に大腸がん検診を受けさせていただいたのですが、とてもよかったなと思ひまして、あと、主人が加入しております会社の、家族の、大体3,000円で健康診断というか、乳がんですとかそういうのを受けているのですが、やはりちょっと自己負担分もあれば、例えばですが、きょうは雨が降っているからやめようとか、そういうこともなく参加されるのではないかなと思います。ニュースを見ていると、年金の不安とかいろいろなことを聞いてはいるのですが、でも、まずをもって自分の健康が第一と考えていただいて、やはり高齢者の方たちにも多少なりとも負担していただいて、自分の健康は自分で守るというような自覚のもと、受診していただけるようにしていただけたらいいのではないかと思います。自己負担はしたほうがいいと思います。

○齋藤会長 わかりました。どちらかという積極的に賛成というか、負担があったほうが受診者の覚悟ができるというか、そういう感じですか。

○村澤委員 はい。雨の日だからやめようとか、天候に左右されることなく、この日は何をおいても検診を受けるというふうな気持ちになると思います。

○齋藤会長 わかりました。ありがとうございます。

では関根委員、お願いします。

○関根委員 あとで原稿をお渡ししますが、胃がん検診と肺がん検診の有料化には反対します。理由の第1は、政府のがん対策基本法の目標である検診受診率50%を達成するには、有料化は大きなハードルとなるからです。自治体のがん検診受診者は企業などの検診を受診しない自営業者や高齢者など、比較的所得の多く、有料化は明らかに今まで検診を受診していた人で受診できない人を生み出します。検診回数をふやして受診率を上げるとしていますが、50%の法律上の目標は、有料化しては到底達成できず、市民の健康を守る検診事業としては責任が果たせなくなると考えます。

第2に、小金井市は第3次行革大綱で、6年間で2億7,000万円の財政効果を上げるとしていますが、ろくに車も通らない市道3・4・8号線の拡幅に14億円の市財政を投入するなどしようとしています。市民生活切り捨て、大型公共事業最優先のお金の使い方を改めることなくして、やみくもに有料化しても、それはサービスの利用抑制になるだけで、市の財政改善には役には立ちません。むしろ病気になることにより医療費がふえ、国や自治体の財政を圧迫することになるだけです。

第3に、利用者アンケートすらとっておらず、決定過程の市民参加も極めて不十分です。市は保健福祉総合計画を策定するとき、3年前にアンケートをとったとしていますが、それは無作為抽出2,000人によるものであり、利用者アンケートではありません。集会施設有料化の検討で行ったように、直接負担することになる利用者の意向調査と同意は不可欠と考えます。

以上の理由により、胃がん検診と肺がん検診の有料化には反対いたします。

○齋藤会長 ありがとうございます。3点ぐらいありましたかね。わかりました。

それでは、続きまして小林委員、お願いいたします。

○小林委員 医師会の中でも検討させていただきましたが、今回は有料化は仕方がないのではないかとこの結論でした。私個人としても、有料化はしようがないのではないかなと思います。その分は、そのお金は実施期間を延長するなりして実施機会を増やすことに使えば有効かなと考えています。

○齋藤会長 受診者数が増えることを希望して、やむを得ず。

○小林委員 はい。実施機会が増えれば。

○齋藤会長 有料化はやむを得ずオーケーということですね。ありがとうございます。

では内山委員、お願いいたします。

○内山委員 内山です。世の中の状況と他市の状況で、やはり有料化しているところもかなりあると思いますから、個人的にはこの案に賛成いたします。それから、医師会のほうからも打診があったのですが、今、小林先生が述べられたように、その意見に賛成したいと思います。

○齋藤会長 ありがとうございます。

続きまして大西委員、お願いいたします。

○大西委員 大西義雄でございます。うちは薬剤師会なのですが、薬剤師会に持ち帰りまして、10人ぐらい役員がいるのですが、7人ぐらい出席の席上、ご説明をさせていただきました。そして、私のところでは、私があまり強調したせいかもしれませんけれども、この財政ではやむを得ないだろうと。それから、他の多摩地区の行政の10市ぐらいが有料になっているという実情をお話ししまして、まあやむを得ないでしょうということで、一応、私のところでは賛成ということになりました。

以上です。

○齋藤会長 ありがとうございます。

次に雨宮さん、お願いいたします。

○雨宮委員 雨宮です。私も3つぐらいの集会に出てお話を聞いたのですが、大部分の方が、私は弱者と健常者、あと身障者関係のところをご意見を聞いて、私自身も有料化ということで結論づけたのですが、弱者というのはどうしても、何回もあちこちの病院へ行ってやるより、1か所でやっていただけれ

ばそれがベターではないかという意見が大分多かったです。健常者としてもそのような形で、私などの身障者でもそうだし、あと高齢者の方もそのようなお話もお聞きしています。

とにかく、3団体ぐらいのところのご意見をお聞きしたのですが、そういうご意見がたくさんありました。やむを得ないということで私も賛成します。

○齋藤会長 ちょっと確認したいのですが、1か所で受けるほうがよろしいという意味は。

○雨宮委員 例えば検診車みたいなもので。

○齋藤会長 同時にやってしまうというような。

○雨宮委員 同時に1回でできるということですよ。だったら、あちこちで、きょうはこの病院、あしたは違う病院というように、例えば胃の検診をやって、肺の検診を別なところでやるというふうに2回も行かないで1回でできるのだったらそのほうがいいなというご意見でした。

○齋藤会長 有料化と同時に、同時にやるという案があったので、それを評価するということですね。ありがとうございました。

さまざまなご意見が出ましたが、ほぼ賛成というご意見が、やむを得ずという方が多いかと思うのですが大方のようです……。

○雨宮委員 それから、ちょっと言うのを忘れたのですが、行政の関係にちょっとお願いになってしまっているのですが、有料化実施後、どのような変化があったか検証が必要だと思うのです。第一に、受診率が向上したか、そのための施策の検証も必要と考えておりますので、行政のほうにお願いしたいと思えます。

○齋藤会長 はい。それはまたこの席で報告していただくということによろしいですか。

○高橋課長 はい。当然、毎年数値も出していますので、そういったものをベースに、事業の内容の検証については行ってまいります。

○雨宮委員 ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

○齋藤会長 そうですね。有料化してしまったらそれだけというのではちょっとまずいですね。

審議会として、賛成、反対という意見を決めなくてはいけないのでしょうか。

○高橋課長 今回、私どもとしては、行政としての案をお示しして、皆様のご意見をお伺いするという立場で諮問をしておりますので、特に賛成、反対を決めなくてはいけないというものではないと考えています。

○齋藤会長 わかりました。まだまだ検討しなければいけないこともあるかもしれないのですが、なるべくでしたらこの場でめどをつけたいということですかね。時間のほうはどうでしょうか。

○高橋課長 こちらの都合的などころもあるのですが、27年度の予算編成に既に取りかかっており

ますので、この先、何回か審議会を開いてというのは現状では厳しい状況ではあります。

○齋藤会長 それでは、今いただいたご意見を事務局のほうでまとめていただいて、それを、きょうは木下さんがいらっしゃらないのですが、チェックさせていただいてということによろしいでしょうか。それを審議会の意見として出すということで。

では、それによろしいということですので。

○高橋課長 一応、今、会長のほうで整理いただいたような形で、きょういただいたご意見をベースに、あと紙ベースでいただいているご意見もありますので、そういったものも含めて集約してまとめさせていただきます。

それで、議事録の確認のときのように、皆さんに一度チェックをしていただきますので、それを見てチェックをいただいて、修正したい部分があればその文面を出していただいて、それをベースに正副会長のほうで整理をさせていただくという流れになろうかと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○齋藤会長 紙ベースでいただいているものをここで読んでいただいたほうがよろしいような気がしますが、どうでしょうか。

○高橋課長 わかりました。副会長と大澤先生がまだ来られていませんが、事前に欠席のご連絡をいただいている3名の委員の方から意見用紙をいただいております。順にご紹介させていただきます。

まず、体育協会から推薦いただいている藤森委員のご意見です。

がん検診費用有料化の導入による財政効果を活用し受診定員の拡大を図るとありますが、有料化することにより受診者が増大するとは考えられません。又、市民の多くは無料だから受診するが有料となったら受診しないとの声が聞かれます。よって現状維持を指示いたします。ということでございました。

次に古明地委員のご意見でございます。

ばらまき福祉はよくない。自分の健康管理は基本的に本人がするもので受益者負担が当然だと考える。市民も、現在の市の財政状況から考えても、一人一人が危機意識を持って臨まないと、次世代へ明るい展望が開けないと思う。ということでございました。

また、多摩府中保健所の播磨委員のご意見ですが、お立場もありますので、播磨委員のご意見としては、市のがん検診の有料化に関しては、市として判断するものであり、東京都が意見を述べるべきものではありませんので、今回は意見を控えさせていただきます。ということでございました。

○齋藤会長 はい。では大澤先生、来られてすぐで申しわけないですが、皆さん、今ご意見を述べていただいたのですが、先生にもお願ひできますか。

○大澤委員 はい。小金井歯科医師会の理事会の意向といたしましては、差し当たって、直接当事者で

ある小金井市医師会の意向に同意したいというものでございます。

○齋藤会長 それだけでよろしいですか。

○大澤委員 あとは、個人的な私見としてはありますが、持ち帰らせていただいた理由は会としての意見を聞かざるを得ないという状況下でしたので、前回の意思決定は御免させていただいたという形をとっておりますので。一応、理事会の意向という形で、そういうご返答とさせていただきます。

○齋藤会長 わかりました。

皆さん、ありがとうございます。では先ほどのようにさせていただきます。

あとは、次の日程ということですが、事務局のほうからお願いします。

○中島係長 次回の日程ですが、年が変わりまして2月か3月ごろを予定しております。また近くなりましたら日程調整のほうをご案内させていただきますので、よろしくお願いたします。

また、最後になりますが、前回の会議録につきまして皆さんにごらんいただいたかと思ます。訂正等ございましたら事務局のほうまでお願いたします。

○齋藤会長 では、日程のほうですが、少し余裕を持ってご連絡ください。

○中島係長 わかりました。

○齋藤会長 ほかに何かございますでしょうか。

○内山委員 できれば会場は市の中心あたりでやっていただけると、非常に、個人的な意見かもしれませんが助かるのですが、いかがでしょうか。

○齋藤会長 可能でしたら、お願いたします。

○高橋課長 はい。会議室の予約の関係もありますので、それも含めて調整いたします。

○齋藤会長 では、これでよろしいでしょうか。

皆さん、きょうはありがとうございました。

— 了 —